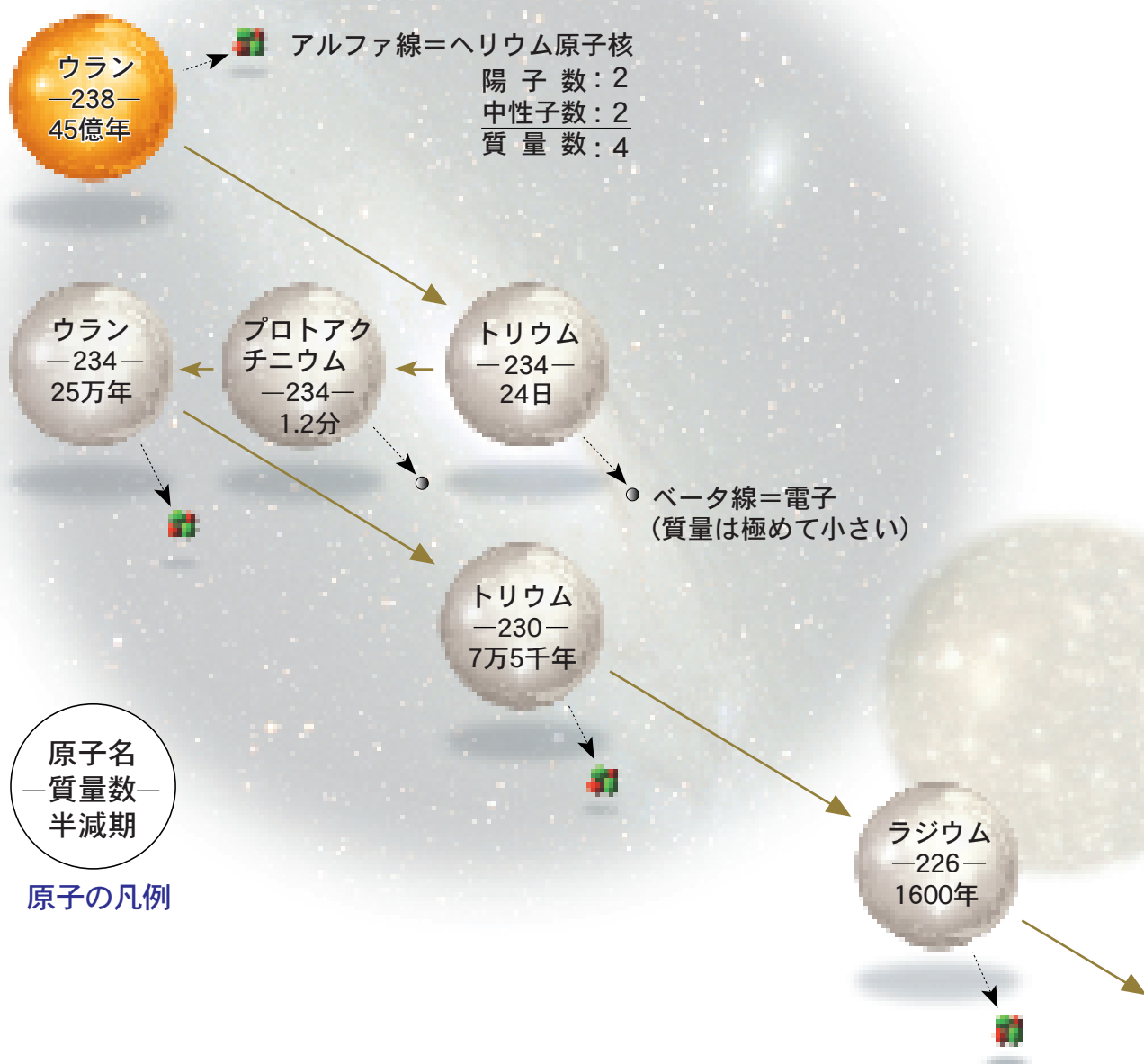


ラドンとは

ラドン温泉のお湯や空気中には、ラドンという気体が含まれています。
このラドンとは何で、どこから来るのでしょうか。

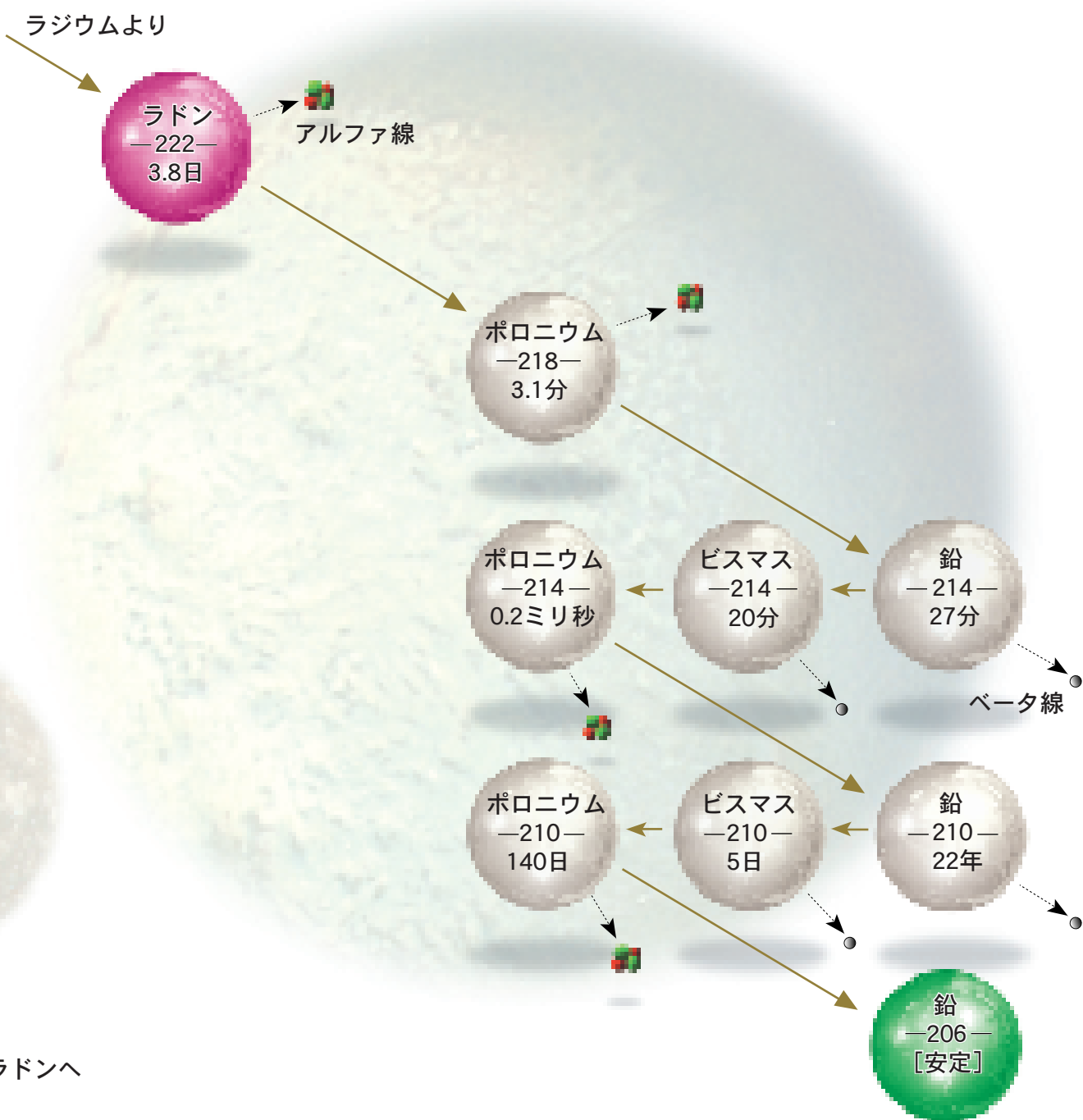


地中の岩石や土には普通、ウランが含まれています。
 ウランは放射線を出して別の原子に変わります。その原子も放射線を出してさらに別の原子に変わって行きます。
 このように次々と原子が変わって行き、最後に放射性ではない鉛^{なまり}になって、落ちつきます。



その途中で、ラジウムからラドンができます。

ラドンは他の原子と化学結合しないため気体になり、温泉のお湯に溶けたり、空気中に飛び出します。

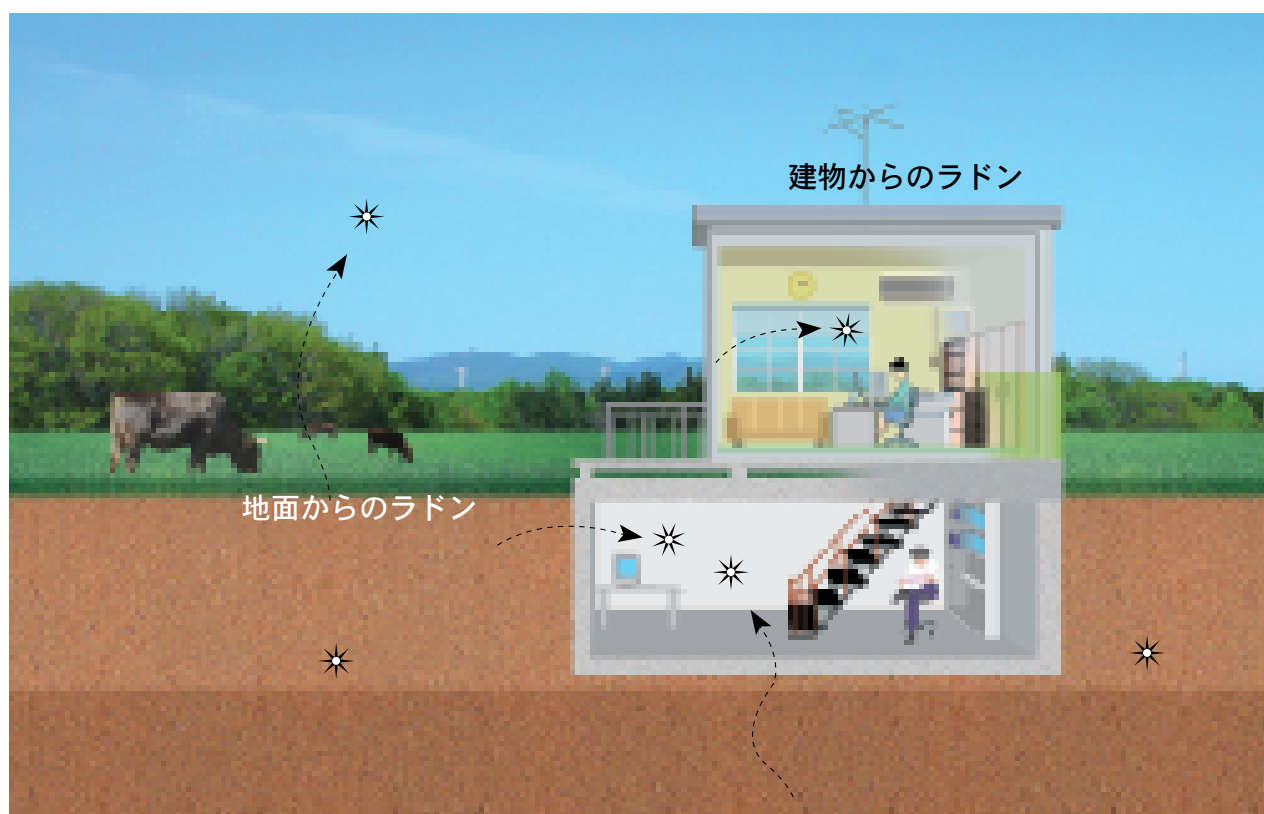


岩石や土にウランが含まれているため、温泉に限らず、あらゆる地面からラドンが出て空気中をただよんでいます。

また建物のコンクリートは石などから作られているため、ウランが含まれ、そこからラドンが出ています。

これらのラドンは呼吸によって肺に入り、放射線を出します。

自然放射線の量の半分は、ラドンの放射線によるものです(世界平均)。



環境研サイエンスノート
Nb.10

平成14年度 作成・印刷

財団法人 環境科学技術研究所 広報・研究情報室

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駱字家ノ前1番7
TEL 0175-71-1200 (代表) FAX 0175-72-3690

このパンフレットは、文部科学省の委託により、
財団法人環境科学技術研究所が作成したものです。